平成23年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年８月６日

上場会社名	株式会社ムロコーポレーション		上場取引所　ＪＱ
コード番号	7264		ＵＲＬ　http://www.muro.co.jp/
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）室　義一郎	
問合せ先責任者	（役職名）常務取締役管理本部長	（氏名）水野　恩惠	（ＴＥＬ）　03（3703）4123
四半期報告書提出予定日	平成22年８月13日		配当支払開始予定日　－

四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成23年３月期第１四半期の連結業績（平成22年４月１日～平成22年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年３月期第１四半期	3,617	55.0	369	－	311	－	186	－
22年３月期第１四半期	2,334	△42.0	△256	－	△266	－	△184	－

	１株当たり四半期純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年３月期第１四半期	30	07	－	
22年３月期第１四半期	△29	25	－	

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
23年３月期第１四半期	14,480	7,630	52.7	1,233	37
22年３月期	14,475	7,518	51.9	1,215	28

（参考）自己資本　23年３月期第１四半期　7,630百万円　22年３月期　7,518百万円

２．配当の状況

	年間配当金									
	第１四半期末		第２四半期末		第３四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年３月期	－		0	00	－		10	00	10	00
23年３月期	－									
23年３月期（予想）			0	00	－		15	00	15	00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

３．平成23年３月期の連結業績予想（平成22年４月１日～平成23年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、第２四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第２四半期（累計）	7,223	40.5	554	－	568	－	354	－	57	24
通期	14,341	19.3	963	160.7	988	230.0	595	268.2	96	22

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

４．その他（詳細は、［添付資料］Ｐ．３「その他の情報」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　：無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更：有

②　①以外の変更　　：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年３月期１Ｑ	6,546,200株	22年３月期	6,546,200株
②　期末自己株式数	23年３月期１Ｑ	359,809株	22年３月期	359,809株
③　期中平均株式数（四半期累計）	23年３月期１Ｑ	6,186,391株	22年３月期１Ｑ	6,310,689株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 3
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）セグメント情報 …… 8
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間における世界経済は、一昨年秋以降の世界的な景気低迷から脱し、欧州、特にギリシャの財政問題を端緒に金融不安が高まったものの、各国の景気浮揚策の効果と中国やインド等の新興国の好景気に牽引され、概ね良好な状態で推移しました。国内経済に目を向けると、高速道路利用料金の値引きや無料化、自動車や電気製品の購入に対するインセンティブ効果、アジア地域向け輸出の増加等により、こちらも力強く、堅調に推移しました。しかしながら、外的要因が大きく作用して予想以上・実力以上に進行する円高や好況国に引っ張られる原材料価格、その中にあっても国内消費の低迷により下落が続く製品価格、景気刺激策終了後の反動懸念は色濃く影を落とし、雇用回復も遅れ、経済全体としては依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループの主要取引先であります自動車業界の当第１四半期連結会計期間の状況は、国内販売台数1,157千台（前年同期比20.8%増）、輸出台数1,177千台（前年同期比55.1%増）となり、内外ともに堅調に推移し、国内生産台数は2,301千台（前年同期比34.5%増）と大幅に増加しました。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は3,617百万円（前年同期比55.0%増）となりました。昨年度まで不調が続いておりましたトラックや建機、産業機械関係が回復し、自動車や部品メーカー向けの売上も堅調に推移しました結果、国内生産台数の伸びを大きく上回る売上増を達成することができました。また、売上増加の中にあっても、経費削減等の改善活動を徹底して推進してまいりました結果、営業利益は369百万円（前年同期は営業損失256百万円）、円高による利益押下げ要因があったものの経常利益は311百万円（前年同期は経常損失266百万円）、四半期純利益は186百万円（前年同期は四半期純損失184百万円）となり、前年同期に対して大幅に改善いたしました。

なお、当第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。詳細は、３．四半期連結財務諸表（５）セグメント情報等〔セグメント情報〕１．「報告セグメントの概要」をご確認ください。

当第１四半期連結会計期間のセグメントの業績は、次のとおりであります。

① 車輌関連部品

当第１四半期連結会計期間におきましては、トラック、建設機械、産業機器の回復と減税効果による環境対応車関連部品等の売上が堅調に推移して、当事業の売上高は、3,452百万円となりました。

② その他

当第１四半期連結会計期間におきましては、住宅市場の緩やかな回復と新規顧客等の獲得により主要販売製品の連続ねじ締め機等が前年同期より売上が増加し、その他の売上高は、165百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、84百万円減少し3,192百万円（前連結会計年度末比2.6%減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は524百万円（前年同四半期比130.2%増）となりました。これは売上債権の増加額250百万円などの資金の流出があったものの、仕入債務の増加額87百万円やたな卸資産の減少額54百万円などの資金の流入があったことと、税金等調整前四半期純利益326百万円と減価償却費208百万円によります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、流出した資金は41百万円（前年同四半期比92.1%増）となりました。これは有形固定資産の取得による支出30百万円や定期預金の預入による支出12百万円などの資金の流出があったことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、流出した資金は570百万円（前年同四半期は468百万円の獲得）となりました。これは短期借入金の純減少額400百万円、長期借入金の返済による支出103百万円や配当金の支払による支出56百万円などがあったことによります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期連結累計期間（平成22年４月1日から平成22年９月30日）における連結業績予想につきましては、トラックや建機、産業機器関係が回復したこと、またエコカー補助金の後押しもあり、自動車及び部品メーカーからの受注が好調に推移したこと等により、売上高は前回予想を大幅に上回る見込であります。利益面は、売上増加の中にあっても、材料・外注費削減、物流コスト削減、人件費抑制、その他原価低減活動を展開していることと、売上増加の相乗効果もあり、各利益は前回予想を大幅に上回る見込であります。

平成23年３月期の連結業績予想につきましては、国内のエコカー補助金終了等による減少要因があるものの、アジア地域への輸出部品の増加等でカバーし、売上高は前回予想を大幅に上回る見込であります。利益面は、通期に亘り原価低減活動を推し進め、売上増加との相乗効果もあり、各利益が前回予想を大幅に上回る見込であります。

なお、連結業績予想の修正については、（平成22年８月４日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

また、平成22年５月14日の決算短信で発表した連結業績予想との差異は以下の通りです。

平成23年３月期　第２四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正（平成22年４月１日～平成22年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	6,490	148	118	58	9　38
今回修正予想（B）	7,223	554	568	354	57　24
増減額（B－A）	732	406	449	296	－
増減率（%）	11.3	274.3	380.5	510.3	－
前中間期実績	5,139	△175	△260	△166	△26　53

平成23年３月期　通期連結業績予想数値の修正（平成22年４月１日～平成23年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	13,409	610	555	309	49　99
今回修正予想（B）	14,341	963	988	595	96　22
増減額（B－A）	931	352	433	286	－
増減率（%）	6.9	57.7	78.0	92.6	－
前期実績	12,016	369	299	161	25　88

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

当第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、当第１四半期連結会計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,333,964	3,405,019
受取手形及び売掛金	3,518,247	3,260,001
製品	440,993	475,296
仕掛品	189,474	199,896
原材料及び貯蔵品	292,197	295,146
繰延税金資産	175,423	164,653
その他	192,601	138,763
貸倒引当金	△9,606	△9,215
流動資産合計	8,133,296	7,929,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,887,042	4,854,258
減価償却累計額	△3,085,311	△3,048,417
建物及び構築物（純額）	1,801,731	1,805,840
機械装置及び運搬具	8,555,669	8,514,581
減価償却累計額	△6,931,198	△6,805,463
機械装置及び運搬具（純額）	1,624,471	1,709,117
土地	1,424,007	1,418,759
建設仮勘定	19,313	14,242
その他	4,255,413	4,207,231
減価償却累計額	△3,952,828	△3,910,259
その他（純額）	302,585	296,971
有形固定資産合計	5,172,108	5,244,931
無形固定資産	138,192	143,159
投資その他の資産		
投資有価証券	416,262	519,847
繰延税金資産	340,830	348,446
その他	303,009	312,630
貸倒引当金	△22,975	△23,054
投資その他の資産合計	1,037,126	1,157,869
固定資産合計	6,347,428	6,545,960
資産合計	14,480,724	14,475,522

（単位：千円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,142,273	2,051,852
短期借入金	913,056	1,313,056
未払金	554,361	476,082
未払法人税等	129,889	28,157
賞与引当金	119,296	171,900
役員賞与引当金	9,699	22,500
その他	454,412	281,995
流動負債合計	4,322,987	4,345,544
固定負債		
長期借入金	1,778,199	1,845,557
退職給付引当金	424,651	434,993
役員退職慰労引当金	264,221	278,931
その他	60,553	52,237
固定負債合計	2,527,625	2,611,719
負債合計	6,850,613	6,957,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,095,260	1,095,260
資本剰余金	904,125	904,125
利益剰余金	5,915,559	5,791,385
自己株式	△182,406	△182,406
株主資本合計	7,732,539	7,608,365
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,059	76,534
為替換算調整勘定	△138,488	△166,641
評価・換算差額等合計	△102,428	△90,107
純資産合計	7,630,111	7,518,257
負債純資産合計	14,480,724	14,475,522

（２）四半期連結損益計算書
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）
売上高	2,334,198	3,617,826
売上原価	2,161,112	2,779,746
売上総利益	173,085	838,079
販売費及び一般管理費		
運搬費	74,791	105,541
役員退職慰労引当金繰入額	5,649	6,165
給料及び賞与	106,808	105,439
賞与引当金繰入額	19,337	21,225
役員賞与引当金繰入額	7,125	9,699
退職給付引当金繰入額	4,997	4,920
減価償却費	10,780	8,203
貸倒引当金繰入額	－	4
その他	200,074	207,573
販売費及び一般管理費合計	429,564	468,772
営業利益又は営業損失（△）	△256,479	369,307
営業外収益		
受取利息	1,259	490
受取配当金	2,174	3,257
株式割当益	－	4,496
助成金収入	8,023	－
その他	7,175	4,702
営業外収益合計	18,633	12,946
営業外費用		
支払利息	12,095	12,208
為替差損	16,165	57,868
その他	266	253
営業外費用合計	28,527	70,329
経常利益又は経常損失（△）	△266,373	311,924
特別利益		
貸倒引当金戻入額	173	－
投資有価証券売却益	－	16,657
特別利益合計	173	16,657
特別損失		
固定資産除却損	257	345
投資有価証券評価損	23,221	－
その他	－	1,968
特別損失合計	23,478	2,313
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△289,678	326,268
法人税、住民税及び事業税	7,109	128,427
法人税等調整額	△112,220	11,803
法人税等合計	△105,111	140,230
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△184,567	186,037
少数株主利益	－	－
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△184,567	186,037

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△289,678	326,268
減価償却費	246,060	208,465
貸倒引当金の増減額（△は減少）	185	312
賞与引当金の増減額（△は減少）	6,332	△52,603
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	7,125	△12,801
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△17,986	△10,342
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	5,649	△14,709
受取利息及び受取配当金	△3,433	△3,747
支払利息	12,095	12,208
為替差損益（△は益）	19,879	49,385
固定資産除却損	257	345
投資有価証券評価損益（△は益）	23,221	－
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△16,657
売上債権の増減額（△は増加）	121,173	△250,759
たな卸資産の増減額（△は増加）	105,474	54,719
仕入債務の増減額（△は減少）	△104,268	87,033
未払金の増減額（△は減少）	△66,222	31,622
その他	162,081	147,553
小計	227,946	556,291
利息及び配当金の受取額	3,105	4,339
利息の支払額	△13,140	△15,514
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	10,089	△20,358
営業活動によるキャッシュ・フロー	228,001	524,757
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,700	△12,000
定期預金の払戻による収入	60,736	1,972
有形固定資産の取得による支出	△78,843	△30,552
投資有価証券の取得による支出	△1,873	△1,776
その他	1,139	979
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,541	△41,377
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	△400,000
長期借入れによる収入	600,000	－
長期借入金の返済による支出	△63,264	△103,264
自己株式の取得による支出	△8,800	－
配当金の支払額	△29,083	△56,404
リース債務の返済による支出	△30,710	△10,434
財務活動によるキャッシュ・フロー	468,141	△570,102
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,256	2,297
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	682,857	△84,424
現金及び現金同等物の期首残高	1,865,789	3,276,864
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,548,647	3,192,440

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕
前第１四半期連結累計期間（自平成21年４月１日　至平成21年６月30日）

	車輌関連部品（千円）	新規事業品等（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,215,981	118,216	2,334,198	－	2,334,198
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,215,981	118,216	2,334,198	－	2,334,198
営業損失（△）	△109,854	△1,501	△111,355	△145,123	△256,479

（注）１．事業区分の方法
事業は、製品の使用目的、製造方法及び市場の類似性を考慮して区分しております。
２．各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
車輌関連部品	自動車の駆動伝達・操縦装置部品、エンジン部品、コンプレッサー部品等 産業機械部品、農業機械部品、計測器部品、建設機械部品、電気・電子機器部品等
新規事業品等	連続ねじ締め機、ねじ連綴体、柑橘類皮むき機等

〔所在地別セグメント情報〕
前第１四半期連結累計期間（自平成21年４月１日　至平成21年６月30日）

	日本（千円）	北米（千円）	東南アジア（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,111,666	222,531	－	2,334,198	－	2,334,198
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	31,560	1,772	23,712	57,045	△57,045	－
計	2,143,227	224,304	23,712	2,391,243	△57,045	2,334,198
営業損失（△）	△63,193	△42,009	△7,910	△113,113	△143,365	△256,479

（注）１．国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
２．本邦以外の区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。
(1) 北米……米国、カナダ
(2) 東南アジア……ベトナム

〔海外売上高〕

前第１四半期連結累計期間（自平成21年４月１日　至平成21年６月30日）

	北米	欧州	その他の地域	計
Ⅰ　海外売上高（千円）	185,730	38,490	6,343	230,565
Ⅱ　連結売上高（千円）				2,334,198
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	8.0	1.6	0.3	9.9

（注）１．国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

２．各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米……米国、カナダ

(2) 欧州……イギリス、ポーランド他

３．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

〔セグメント情報〕

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、自動車用部品及び産業用機械部品等の製造販売を主な事業内容としており、これら取り扱う製品ごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従いまして、当社グループが基礎とするセグメントは製品別で構成されており、販売金額の大半を占める「車輌関連部品事業」を報告セグメントとしております。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第１四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年６月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント	その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	車輌関連部品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,452,781	165,044	3,617,826	－	3,617,826
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	3,452,781	165,044	3,617,826	－	3,617,826
セグメント利益	503,058	12,678	515,737	△146,430	369,307

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

２．セグメント利益の調整額△146,430千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

当第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。